

ドラマ「一リットルの涙」作中における感情表現分析

(語用論)



マイケル ドハン

1 1 4 2 0 1 0

マラナタ・キリスト教大学

文学部・日本文学科

バンドン

2 0 1 5

## 1. 序論

人間は他者と言語を通して意思疎通を行う。言語で人々は感情の気持ちを伝えることができる（Schacter、2011：310）。感情の伝え方は三通りあり、表情と身振りと言語表現である。言語には感情表現が必ず存在し、日本語にも感情表現がある。例えば、「嬉しい」、「悲しい」、「驚く」などである。感情表現は直接的や暗黙的に話し手の気持ちを伝えることができる。日常会話の中に感情表現はよく見られ、暗黙的の会話を理解ために、この研究では語用論を使う。語用論とは「言語とそれが使われる場面、状況とに関連を理論的に扱うのが語用論といえる」（寺村、1990：171）。語用論で全ての会話の意味と文脈を通じられると説明することができる。研究のデータとして日本のドラマ「一リットルの涙」を使う。

研究の目的：

1. ドラマ「一リットルの涙」の会話の中の様々な感情表現を説明する。
2. ドラマ「一リットルの涙」の会話の中に、感情表現の様々な含意を説明する。
3. ドラマ「一リットルの涙」の会話の中に、感情表現の様々な前提を説明する。

## 2. 本論

ここでは集めたデータを分析し、日本語の感情表現の会話の中にある感情形容詞と感情動詞の言葉を使い、会話から感情表現の言葉と会話の含意と会話の前提を説明する。

### 1. 感情形容詞

亜也 : いきます。  
潮香 : 亜也！ちょっと忘れ物！  
亜也 : えっ？  
潮香 : 受験票。  
亜也 : あっ！  
潮香 : まったくそそっかしいんだから。  
瑞生 : ハハハ、まったく誰に似たんだか。

(第一話、06 : 33 - 06 : 43)

会話によると、主人公「亜也」はその時に、高校入試を受ける予定である。日本社会のでは、高校入試は大事なことである。日本の高校入試の水準は高い。そして、亜也は入試を遅刻したくないので急ぐが、亜也の母親「潮香」は大声で亜也の忘れ物を注意する。その忘れ物は亜也の受験票である。

会話の中の感情形容詞は「そそっかしい」である。「そそっかしい」の意味は「何かをする時に、あまり注意しないまた小さいことをあまり気にしないという意味」である。話し手は潮香から、聞き手は亜也（第三者）に言った。

感情形容詞の言葉から、会話の含意は潮香が亜也を叱る。叱るの目的は亜也が同じ失敗をしない。他の含意の可能性は、潮香は亜也に注意することを、もう一度持ち物を確認することを伝えようとしている。この含意のタイプは「規約の含み (conventional implicature)」のタイプである。

「そそっかしい」の言葉の前提は、亜也の性格は日常生活がうっかりすることがよくある。潮香の性格はとてもいい母親であり、家族の関係がとても大事な人であり、特に子どもたちの関係である。だから、潮香は亜也の性格がよく知っている。この前提のタイプは「存在に関する前提 (existential presupposition)」のタイプで、潮香の「そそっかしい」の言葉から亜也のある性格の情報を理解することができる。

## 2. 「～む」と「～がる」の語尾を付ける感情動詞

水野 : 結局何にかも聞かずに帰っていきました。もう限界じゃないでしょうか？亜也さん今一人で苦しんでるんじゃないでしょうか？

潮香 : 亜也が何か気づき始めてるのは分かってます。でも...でもあの子傷つけたくないんです。

(第三話、33 : 27—33 : 58)

別のエピソードにおいて、亜也は自分の身体にある病気（脊髄小脳変性症）の情報をもう知っていた。だけど、亜也は誰にもこのことを話さない。医師（水野）はその病気は治らないと言ったが、潮香は水野にその治らない病気のことを言わないで欲しいと頼んだ。その理由は亜也がまだ

若く、その時彼女は日常生活をととても楽しんでおり、亜也に少しでも心配をかけたくないと思っている。であるためこの会話では、水野は池内家を訪問し、潮香と一緒に亜也のために何かいい方法がないか相談する。その不安の気持ちが表情から見ることができる。

会話の中に、感情動詞の言葉は「苦しんでいる」であり、元の言葉は「苦しむ」である。その言葉の意味は「心の不安か痛みを感じていると言う意味」である。その言葉は話し手の水野から言い、聞き手は潮香で（第二者）、意図された人の気持ちを亜也（第三者）の気持ちを伝えられる。この含意のタイプは「会話の含み（conversational implicature）」のタイプである。

会話中の水野の言った感情動詞の含意は、亜也の両親は亜也の病気のためにすぐ入院させ、そしてリハビリをさせたいと言う目的がある。その方法なら、亜也の病気をあまり早く進まないはずである。そして、亜也は自分の心を準備できるはずだと信じている。

水野の会話文の中にある前提は、亜也はその自分の身体にある病気の情報を少し知っているかもしれない。同じ日には、水野は亜也にその病気のことを話すつもりだったが、亜也の苦しみを水野が感じたのは、亜也の精神状態が悪化する前である。前の話から、亜也は水野と会い、そして少し話した。会った時、水野にとって亜也の苦しむ気持ちを少し感じたが、亜也はもう病気のことを知っているかいないか、まだ分からない気持ちを感じとれる。この前提のタイプは「非事実的前提

(nonfactivepresupposition) 」のタイプで、水野は亜也の気持ちがまだ分からない。

### 3. 「～む」と「～がる」の語尾を付けない感情動詞

水野　：ただ、こうしてる間にも病気は進行しています。お嬢さんが自由に動ける時間は限られます。限られた時間を有意義に過ごすためにはまずお母さんがお嬢さんの病気を認めることが必要です。

潮香　：娘が治らない病気ですだなんて言われて、そんなに簡単に納得したり認めたりできないんです。

(第二話、01:39—02:05)

前の話で、亜也の母（潮香）は病院で人間ドックに行くように誘った。人間ドックの結果から亜也の病気が治らない病気と知っていた。上の話しの場所は病院である。潮香は医者（水野）とセカンドオピニオンのことを相談する。結局、二人の話の話題が変わり、水野にとって一番大事なことは池内家はどのように亜也の病気を早く受け入れることができるのかについてである。

会話にある感情動詞の言葉は「認めたりできない」である。会話の文脈から、その言葉の意味は「その状態を受け入れられないと言う意味」である。その言葉の話し手である潮香（第一人者）の感情は自分の感情を伝えることができる。

会話中の潮香が言った感情表現の含意は、潮香は亜也の病気受け入れられない。他の含意の可能性は潮香はまだショックの気持ちがあった。それに、そんな大きな問題を初めて聞いたかもしれない。そして、潮香の

子どもの命を助けられない。この含意のタイプは「会話の含み (conversational implicature)」のタイプである。

潮香の言った文の前提は亜也のかかった病気でもうすぐ亜也は亡くなるかもしれない。その前提が強くなる。潮香の表情から泣くことを我慢し、潮香の悲しむ気持ちが見える。この前提のタイプは「語彙的前提 (lexical presupposition)」のタイプで、その会話の前提は感情表現の言葉で未来の状態はもう考えられる。

#### 4. 「～する」のサ変他動詞の感情動詞

瑞生 : 亜也、お前お母さんに電話したか？  
亜也 : ううん。  
瑞生 : 電話しとけよ。あのケガのこと心配してるだろうから。  
亜也 : うん、分かった。  
瑞生 : うん。

(第二話、18 : 25 - 18 : 34)

会話の状態は夜8時ぐらい、亜也の部屋の中である。別のエピソードにおいて、亜也の父(瑞生)は亜也の飲むはずの薬を飲まなかったことで注意する。そして、瑞生は亜也に母親がどこへ行くかを聞いたが、亜也は知らなかった。続いて、亜也の妹(亜湖)は瑞生にお母さんは多分知らない男と浮気するかもしれないと言った。そして、瑞生は亜湖に無駄な話をするなど怒りの気持ちで言った。

会話の中に、感情動詞の言葉は「心配してる」である。「心配してる」の意味は「相手の状態を気になる気持ちがあるという意味」である。そ

の言葉の話し手である瑞生（第一人者）は母（第三者）の気持ちを亜也（第二者）に伝えられる。

上の会話にある含意は、瑞生の言った感情表現で暗黙的意味がある。瑞生は亜也に電話をするように言う、瑞生は妻の状態を心配する気持ちがある。他の可能性は、亜湖の話によると、瑞生はやきもちをやいていた。それに、外はもう暗くなり、瑞生の不安な気持ちが見える。この含意のタイプは「会話の含み (conversational implicature)」のタイプである。

この会話の中にある前提は、母は亜也の怪我を早く直って欲しい。他の前提の可能性は、母は心配するから、亜也の怪我は大きいかもしれないか治りにくい可能性があるかもしれません。この前提のタイプは「存在に関する前提 (existential presupposition)」のタイプで、亜也の怪我の情報があるから、他の人の気持ちも亜也に伝えられる。

### 3. 結論

1. 感情表現のタイプは二つあり、一つ目は感情形容詞である。感情形容詞は話し手の気持ちを形容詞で相手に伝えられる。二つ目は感情動詞である。感情動詞は三つに分けることができる。一つ目は「～む」と「～がる」の語尾を付ける感情動詞である。その感情動詞の言葉で、話し手は相手に第二者と第三者の感じる気持ちを伝えられる。二つ目は、「～む」と「～がる」の語尾を付けない感情動詞で



ある。三つ目は、「する」のサ変他動詞の感情表現である。二つ目と三つ目のタイプは感情形容詞のように、話者の気持ちを相手に簡単に伝えられる。

2. ドラマ「一リットルの涙」の中に、前提のタイプが二つある。一つ目は「規約の含み (conventional implicature)」、語がそれ自体で持つ内容でありながら、真理条件的意味を超えいでる内容を指す。二つ目は「会話の含み (conversational implicature)」、文字通りの内容を超えた言外の内容を指す。
3. ドラマ「一リットルの涙」の中に、前提のタイプが四つある。一つ目は「存在に関する前提 (existential presupposition)」、情報は正しいとか存在すると言う意味のタイプである。二つ目は「事実に関する前提 (factive presupposition)」、正しい情報を動詞で判断することができるタイプである。三つ目は「語彙的前提 (lexical presupposition)」、会話か話しの中にある暗黙的言葉を説明するタイプである。最後に、「非-事実的前提 (nonfactive presupposition)」は情報の正誤が判別しないタイプである。

## DAFTAR ISI

<b>HALAMAN JUDUL .....</b>	<b>i</b>
<b>HALAMAN PENGESAHAN .....</b>	<b>ii</b>
<b>HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS .....</b>	<b>iii</b>
<b>PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI.....</b>	<b>iv</b>
<b>KATA PENGANTAR.....</b>	<b>v</b>
<b>DAFTAR ISI.....</b>	<b>vii</b>
<b>BAB IPENDAHULUAN.....</b>	<b>1</b>
1.1 Latar Belakang Masalah .....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	7
1.3 Tujuan Penelitian .....	7
1.4 Metode dan Teknik Penelitian .....	8
1.4.1 Metode Penelitian .....	8
1.4.2 Teknik Penelitian .....	9
1.5 Organisasi Penulisan Skripsi .....	9
<b>BAB IIKAJIAN TEORI .....</b>	<b>11</b>
2.1 Pragmatik (語用論) .....	11
2.2 Implikatur (含意).....	12
2.3 Presuposisi/Praanggapan (前提).....	16
2.4 <i>Affective Expression</i> (感情表現).....	19
<b>BAB III PENGGUNAAN KANJOU HYOUGEN DALAM BAHASA JEPANG PADA DRAMA “ICHI RITTORU NO NAMIDA”: KAJIAN PRAGMATIK .....</b>	<b>26</b>
3.1 <i>Kanjou Hyougen</i> Berdasarkan Adjektiva (感情形容詞).....	27

3.2	<i>Kanjou Hyougen</i> Berdasarkan Verba (感情動詞).....	36
3.2.1	Perubahan Sufiks ~む dan ~がる.....	36
3.2.2	Verba dengan Makna Emosi.....	44
3.2.3	Verba yang Tergolong <i>Sahen Tadoushi</i> (サ変他動詞).....	57
<b>BAB 4 SIMPULAN</b> .....		<b>64</b>
<b>DAFTAR PUSTAKA</b> .....		<b>67</b>
<b>LAMPIRAN DATA</b> .....		<b>ix</b>
<b>SINOPSIS</b> .....		<b>xxvii</b>
<b>RIWAYAT HIDUP PENULIS</b> .....		<b>xxxvi</b>